

2016/12/11 青島太平洋マラソン 参戦記

岡本 暢

宮崎県南東平野部。宮崎神宮と青島神社を繋ぐ[神様の櫂]的な素敵なレース。しかも今年で30回のメモリアル。

ずっと出場機会を窺っていましたが、出るなら今年だ！と、空港閉鎖になる位降り続く大雪の札幌から逃げる様に南国、宮崎へ。

前日土曜日に宮崎入り。

市内のどこもかしこも、ヤシの木やソテツみたいなのが生えてて南国を感じワクワク(笑)

こんなにあっただかいのに札幌とおんなじかっこしてる人たくさん！

宮崎地鶏でお腹満たして準備万端！

レース前やからアルコール吞めずで残念！



12月11日午前9時、サンマリスタジアム宮崎発着で今年最終戦に挑みました。号砲と共にスタート。

快晴。微風。気温8℃。Aブロックスタートでタイムロスわずか5秒。これ以上ない絶好のコンディション。失敗レースの言い訳を出来る要素…全くなし！

が、やる気とは裏腹にどうもペースがあがらない。

前半抑えて軽い感じで入るつもりではいたけれど、それにしても様子が変。

その理由が何かは見当がついてはいた(実は前日に発熱してました…)けれど、「気のせい気のせい」と足を運ぶ。

スタートしてからコースは宮崎市街地へ向かう。たいしたアップダウンもなく、つくばほどではないが十分過ぎる高速コース。

大淀川、県庁前、駅前と目抜き通りの橋通りを駆け抜ける気持ち良さ。沿道の声援も素晴らしい。こんな心まで暖まるレース、今まで出なかったの勿体ない！

宮崎神宮前で折り返して、橋通りをふたたびスタジアム方面へ戻る。

スムーズに身体が動かない。

20km手前辺りから、遅れてる感覚はあった。疲れてるとか辛いとかではなくてなんか力が入らない感じ。



意識的にペースを上げる(実際には上がっていなかったのだが)。予定よりも早い始動だが致し方あるまい。

ガーミンの調子も非常に悪かった。

距離表示もペースもはちゃめちゃ。キロ4で走ってるかと思えば、次の瞬間にはキロ2.5を示す。オリンピック選手やあるまいし、そんなペースで走れるかーい！全く頼りに出来ない状態だったので、体感のみで走っていたのが仇となった。

30kmからペースアップ、40kmからはインターバル的にいくと決めていた。なのに全く加速出来なかった。ハンガーノックも、心肺的ダメージもなかった。あとで記録を見て判明したのだが、ビルドアップしていたつもりが…まさかのビルドダウンと言う事実。

32km地点でスタジアムをスルーして(精神的にはきついよね…)、海岸沿いに青島神社方面へ。一気に受ける海からの向風。しかも強い！

折り返して残り5km程。残りをどんなに頑張っても、もう目標タイムには届かないのがわかっていながらも、往生際悪く粘って走る。けど、スタートから3時間経過を示したのを見た時、やっぱり気持ちは折れたかな。

3時間2分台でフィニッシュ。

大阪に続いて連チャンでなんちゅう中途半端な！今年はサブスリーならず。相変わらずのトレーニング不足です。自己嫌悪。

先の彩さんみたく、同じ宮崎で輝きたかったですが残念な結果で2016年は終わりました。

しかも帰りの経由地、羽田。札幌の大雪の影響で搭乗予定機欠航(しかも最終便)のおまけつき。思わぬ形での東京ステイ。

こんなことなら宮崎でもう一泊しときゃよかった…と、ぼやきながら翌朝始発で札幌へ帰還。そのまま出勤怒濤の一日でした。

天罰かな。

来年2月出場予定の京都マラソンの調整だったと思えば上出来？
気持ち切り替えて…やり直し、やり直しっ！